

# 科目区分：外国語科目（中国語）

授業科目名	中国語					学期	曜日	校時
英語名	Chinese							
担当 教官名	陳 振華	単位数	1 単位	必修 選択	必修	前期 前期	水曜日 水曜日	校時 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>中国語の正確な発音をマスターし、中国語の基本文法と基本文型を学んで、簡単な中国語会話や中国語作文などを身に付ける。</p> <p>最初の三週間は主に正しい中国語の発音を集中的に学び、学生諸君に発音の練習を繰り返してさせ、正確な発音をマスターする。音声面が完成してから、中国語の語彙や文法などの学習に入り、この勉強は主に会話文を中心に於て行う、会話を繰り返して練習しながら、中国語の単語と基本文法を自然に身に付ける。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
『身につく中国語』 楊 凱榮 張 麗群 著 (白帝社)								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
水- : F- 水- : D16・17	出席の状況、平素の学習態度、定期試験の成績など総合評価する							
授 業 計 画								
第1回： 発音篇 声調、単母音								
第2回： 複合母音、子音								
第3回： 鼻音を伴う母音、発音のルール								
第4回： 第1課 動詞述語文								
第5回： 第2課 AはBである								
第6回 ~ 第8回： 第3課 形容詞述語文、反復疑問文 第4課 名詞述語文								
第9回 ~ 第11回： 第5課 存在文「在」(BはAにある、BはAにいる) 前置詞 第6課 所有・存在文「有」(Bを持つ、AにはBがある、AにはBがいる) 主述述語文								
第12回 ~ 第14回： 第7課 連動文、助動詞「能」「可以」 第8課 過去の経験を表す、動詞+過(.....したことがある)								